

広島市植物公園 見どころ案内

センニンソウ (キンポウゲ科)
ロックガーデンの日本庭園側の手すりからみつき、白い霞がかかった如く、花と蕾をいっぱいつけています。

ニクイロシュクシャ
(ショウガ科)

インド原産。近縁のハナシュクシャは白い花ですが、こちらは肉色(薄いオレンジ色)の香りのある花を咲かせます。他にもショウガの仲間が花の進化園をにぎやかに演出しています。

マレーアップル
(フトモモ科)

熱帯果樹特有の幹に直接結実する「幹生果」を観察することができます。

**カボチャ'アトランチック
ジャイアント'**(ウリ科)

毎年夏~秋に展示後、冬至の頃に安佐動物公園に運び、象たちがこれを食べます。動物公園からは動物の糞からできた堆肥をもらい、この畑に利用しています。

ハイビスカス (アオイ科)

暑い夏の花のイメージが強いものですが、実は朝夕涼しさを感じるこれからが見頃を迎えます。大温室入口には交配親となった原種の鉢植えも御覧いただけます！

カリガネソウ
(シソ科(旧:クマツヅラ科))

日本を含む東アジアが原産です。和名はこの花の形を雁(かり)の一種の首に見立てたものです。紫色の清楚な花で、帆掛船に見立てて、帆掛草(ほかけそう)の別名もあります。

ミヤマガマズミ
(スイカズラ科)

自生しているため、ラベルがついていないものが多いのですが、園内各所で枝先に赤い実を付けています。

ハギ園(マメ科)

秋の七草の一つとしてよく知られています。まだ咲き初めですが、蕾を枝いっぱい立ち上げています。もう少しお待ちください。。。

サルスベリ

(ミソハギ科)

漢字で「百日紅」と書くように、長期間にわたって花を楽しむことができます。剪定にも耐え、毎冬切り戻すことでコンパクトな樹姿を保つことができます。

エンジェルストランペット
(ナス科)

秋の涼しさと共に発色がよくなってきました。ログガーデンの秋の主役となっています。

ノアサガオのカーテン
(ヒルガオ科)

品種はオーシャンブルー、ラッキーブルー。紫色の花が咲いています。ツルは屋上まで伸びて、大きなカーテンを作っています。

